

## 予算WG

国分 修三

従来の旅費支給は隔年・定額で個人への配分だったが、今年度から技術部に旅費の管理を委任されたことにより、運用について検討を行なった。今年度は旅費使用について調査を行い、技術部業務実施委員会で調整を行った。主に学会・研究会発表者への配分だったため、技術部業務に関わる旅費支出が困難な状況になるなど、改善の余地が多かった。

よって、新たに予算WGの設置を行い「管理（配分）についての申し合わせ事項」を作成して、次年度は申請方式と従来の定額配分に予算上限額を増やした方法を提案した。

これにより、必要な旅費が申請により獲得できることと、これまでより遠方への旅程が可能となっている。旅費の使用に際してはこれまでの既得権益意識を排除して、技術部業務関連に使用する旅費として、あるいは必要な旅費については申請を行い使用する方向に意識改革が必要となる。

平成19年度の技術部旅費使用実績の状況について、下記の表に記載している。

平成19年度技術部旅費使用実績

期 日	出張先	件 名	備 考
8月23日	富山大学	H19機器分析技術研究会	発表 6名
三浦 篤義	機械・エネルギー工学系	「下肢自動ストレッチ装置の開発」	
北村 純一	機械・エネルギー工学系	「XYステージを用いた幾何学公差測定器の作製」	
西田 健一	機械・エネルギー工学系	「6軸垂直多関節型マニピュレータの自動吸着ハンドの開発」	
奥林 豊保	総括技術長	「トレーサ法による風車まわりの流れの可視化」	
国分 修三	環境化学系	「加圧高温処理による木質系廃棄物の再資源化」	
高橋 徹	電気・電子工学系	「クロメン誘導体の高圧下における閉環反応について」	
8月23日	富山大学	H19機器分析技術研究会	出席 1名
8月29日	福岡大学	2007年度日本建築学会大会(九州)	出席 1名
9月18日	琉球大学	第60回電気関係学会九州支部連合大会	発表 1名
原楨 稔幸	情報工学系	「あいまいな要求に応じた目的地を提案するナビゲーションシステム」	
9月18日	琉球大学	第60回電気関係学会九州支部連合大会	出席 1名
10月17日	京都大学	自動車技術秋季学術講演会	出席 1名
11月19日	京都大学	熱工学カンファレンス2007	出席 1名
11月17日	大阪大学	第20回大阪大学技術報告会	技術部命令 1名

## 管理（配分）についての申し合わせ事項

### ①申請者を対象（予算総額：30万円）

発表申請者・技術講習会出席を受け付ける。

発表形式は口頭・ポスターを問わないが、申請者が多数の場合は若年層を優先する。

使用者は該当年度もしくは次年度の技術部研修で報告を行う。

該当者は次年度定額配分グループの最下位へ配置する。

### ②グループ分けをして定額を配分する（予算総額：50万円（予算上限：6万円））

グループ分けを行い、該当者には事前に通知を行い、年度内の出張計画を提出させる。

予算上限内で複数回の使用は認めない。

次年度に計画が確定している場合はWGで協議する。

可能であれば、該当年度もしくは次年度の技術部研修で報告を行う。

出張計画の提出が無ければ不要とみなし、次年度最下位のグループに配置する。

※ グループ分け表は省略。

## 活動記録

7月30日 第1回予算（旅費）WG会合

9月 3日 第2回予算（旅費）WG会合

10月12日 第3回予算（旅費）WG会合